

「私はあなたと共にいる」

創世記 28章 15節

日本キリスト教団安行教会牧師・本学講師 田中 かおる

皆さんは、今までの人生の中で、「もう、だめだ…」と何もかも投げ出したくなるようなことがありましたか？…私は、何度かありました。いえ、正直にいうと、今でも、時々、「もう、だめだ…」と思うことがあります。先がみえなくて、この先の好転がそう簡単には望めなくて、諦めに似た気持ちになることがあります。でも、その度に思い出すことがあります。そして、その時のことを思いだすと「あの時になんとか乗り越えられたのだから、今度も大丈夫！」と力が湧いてくるのです。その時、しみじみ知ったことは、窮地に陥った時、「もうだめだ…お手上げ！」となって初めて、実は自分は支えられていたのだ、自分が思っていることをはるかに超えて支えられていたのだということに気付いたのです。「わたしはあなたと共にいる。この窮地のただ中にこそ、私はあなたと共にいる」とおっしゃってくださるお方がいる、そう気付いたのです。

私は、当時、自分の置かれている立場がいやで仕方ありませんでした。どんな立場かという、親が運営していた仕事を引き継ぐという立場でした。親からは、半ば強制的にその仕事を引き継ぐことを強要されていました。それが、いやで、いやで、とうとう、周囲の反対を押しきって、海外へ飛び出していきました。形の上では、母校からの紹介状を書いてもらっての転職だったのですが、何しろ、たった一人で、紹介先の教会付属の幼稚園へ、飛行機によって旅立つことになったのです。自分で選んだ道とはいえ、それはもう、心臓バクバク、成田空港から引き返したい気分でした。しかし、飛行機の中で、不安が最高潮に達した時、心に迫った言葉がありました。それが今日の聖書のみ言葉です。

「わたしはあなたと共にいる。あなたがどこへ行っても、わたしはあなたを守り、必ずこの土地に連れ帰る。わたしは、あなたに約束したことを果たすまで決して見捨てない。」

この言葉は、家族の亀裂を自ら招き、家族のもとにはいられなくなったヤコブが、傷心の旅の最中に夢の中で聞いた言葉です。ヤコブの見た夢は、天からの階段が地に向かって伸びており、その階段を天使が上り下りしている、という夢でした。これは、何を意味しているかというと、問題山積のこの地上に天使（神の使い、もしくは神ご自身）が降りてきて、問題のただ中に共にいてくださっている、ということです。自分ではどうすることもできない事態に陥ったヤコブ、父親をだましてまで「長子の権利（跡継ぎの権利）を兄エサウから奪いとったヤコブ、そのために兄エサウの怒りを買って、家族から離れなくてはならなくなったヤコブ…このような問題を抱え、身から出た錆とはいえ傷心のヤコブのもとに、神が降りてきてくださり、「私はあなたと共にいる。」とおっしゃってくださった…このことを受けて、ヤコブはそこから立ち上がりました。その後も波瀾万丈の生涯を送りますが、神のこの言葉「私はあなたと共にいる。」に励まされての人生でした。…問題山積の当時の私にも、この言葉は迫ってきました。そして、

今も、この言葉に励まされて、一步を踏み出すことができます。

主なる神さま、問題山積の世にあって、あなたが共にいてくださり「決して見捨てない」とおっしゃって下さっていることに感謝します。どうか、この言葉によって、困難からすべての人が立ち上がることができますように。主イエス・キリストのみ名によって祈ります。アーメン。

2020年10月16日 聖学院大学 全学シリーズ礼拝「苦難を乗り越える」